

ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

待ちに待った!一輪車講習会が再開

静岡・浜松市立熊小 / 岐阜・高山市立本郷小



①②③静岡・浜松市立熊小で ④岐阜・高山市立本郷小で

ベルマーク財団のへき地支援ソフト事業、一輪車講習会が今秋、再開しました。昨年度はコロナ禍のため全面中止となりましたが、感染対策を十分に取って再スタートしました。

第1回目は11月8日、静岡県浜松市立熊小(西田亮校長、児童13人)。本来は7月の予定が大雨で延期になり、待ちに待った開催です。熊小は一輪車が「校技」で、体育の授業でも採り入れています。独自の検定もあり、子どもたちが切磋琢磨して一輪車を楽しんでいるそうです。

インストラクターは静岡市からやって

来た長坂綾さんと、瀧口夏緒さん。いろいろな賞をとっている一輪車のエキスパートです。2人の模範演技に続いて、子どもたちが、明るく元気な音楽に合わせて日ごろの成果を披露しました。「みんなとても上手。きょう指導でやろうと思っていたことが全部できているのでどうしよう」と、長坂さんは笑顔でちょっと困り顔。子どもたちの笑顔も弾けます。

そのあとは「バック」「アイドリング」「スピン」の3つに分かれて教わりました。最後に児童を代表して6年生の森下祐花さんが「一輪車が楽しく乗れました。教えてくれてありがとうございます

た」とあいさつしました。

11月22日には岐阜県高山市立本郷小学校(可児慎吾校長、児童58人)で一輪車講習会が開かれました。一輪車は初めての子どもたちが多い中、可児校長は「この講習会で一輪車をもっと盛んになってくれれば」といいます。

講師は佐藤彩香さんと高田朝日さん。ともに世界大会などで優勝や上位入賞を数多く経験した第一人者です。華麗な模範演技にみんなうっとり見とれた後、1～3年生と4～6年生に分かれ、1時間弱ずつの実技指導に入ります。

一輪車の調整と乗り方を教わり、体育

館の壁伝いに、補助してもらいながらゆっくりと進む練習を繰り返しました。少し乗れるようになった子は「難しかったけれど、少しできてよかった」。

講師の2人は「みんな練習に飽きずに、終わりまで真剣に取り組んでいたことが印象的でした」と話しました。

みなさん、
頑張りましたね!!



ベルマーク持参でスナッグゴルフ

兵庫県三木市で西日本の大会

ベルマーク財団が後援するスナッグゴルフの全国大会が11月20日、兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催され、小学生104人が参加しました。会場にはベルマークのブースが設けられ、選手や保護者がマークを持参。三木市提供の箱入りの爪切りと交換しました。ちなみに三木市はベルマーク収集にも力を入れています。この日集まった2400点余は財団に寄贈され、困っている学校の支援に役立てられます。

大会名は一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)などが主催する「第18回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in三木市」。コロナ対策で東西分割となった西日本大会です。21の小学校チームと、プロゴルファー7人の「JGTOドリームチーム」が競い合った結果、東広島市立三ツ城小学校が優勝。キャプテンの中谷菜摘さん(6年)は「見守ってくれた監督、コーチ、



保護者のみなさんのおかげです」と話しました。2位は東広島市立東西条小学校、3位は沖縄県伊江村立西小学校でした。プロのドリームチームは1打差で残念ながら優勝チームには及びませんでした。

大使から感謝状

福岡市立姪浜中の生徒会に

福岡市立姪浜中学校(田上健二校長、生徒920人)の生徒会に11月17日、ベルマーク大使の脇川雅之さんから感謝状が贈られました。コロナ禍の中、校長の提案で昨秋から生徒会活動としてベルマーク収集のボランティアに取り組み、約1万5000点を集めて財団に寄贈したのです。脇川さんは資料提供などで協力しました。

受け取ったのは第75期生徒会の青木太希会長。「ベルマークを通して、全校生徒が一つの目的に取り組むことができました。この経験を今後に生かしたいと思えます」と振り返りました。

